

令和2年8月19日

港湾空港局港営課

## 第三セクターの経営情報について

報告対象団体		小倉国際流通センター株式会社
会社概要	会社の 事業概要	不動産（高度化倉庫）の賃貸業 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;">           所有施設の概要            営業開始：平成12年9月1日            規模：延床面積 14,596 m<sup>2</sup>            構造：鉄骨造2階建         </div>
	資本金額	465,000 千円
	本市の出資額	20,000 千円
	本市の出資割合	4.3 %
	従業員数	1 人
営業報告の要点		<p>小倉国際流通センターを運営し、テナント3社に倉庫貸付を行った。引き続き、経費の削減に努め、「最低限のコスト体質による事業運営」を続けていく。</p> <p>当期の売上高は、77,948 千円（前期比—628 千円）となった。</p>
収支状況 の要点	当期純利益	4,525 千円
	前年度との比較	<p>○営業利益は、3,643 千円で、 前期比 —3,662 千円（—50.1%）の減益となった。</p> <p>○経常利益は、3,644 千円で、 前期比 —3,661 千円（—50.1%）の減益となった。</p> <p>○当期純利益は、4,525 千円で、 前期比 +789 千円（+17.4%）の増益となった。</p>
	その他 (剰余金・欠損金、設備 投資、資金調達など)	
繰越利益剰余金		37,965 千円
株主総会 (令和2年6月18日 開催)	監査報告	監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1)決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 第23期(令和元年度)営業報告について</li> <li>・ 第2号議案 第23期(令和元年度)決算報告について</li> <li>・ 第3号議案 第24期(令和2年度)事業計画について</li> <li>・ 第4号議案 取締役任期満了による取締役選任について</li> </ul> <p>いずれの議案も異議なく承認可決</p>

(令和2年3月31日現在)

小倉国際流通センター株式会社

令和元年年度 経営状況報告

令和 2 年 8 月 19 日  
港 湾 空 港 局



第 23 回

定 時 株 主 総 会

令和 2年 6月 18日  
於 小倉港湾労働者休憩所

小倉国際流通センター株式会社

## 目 次

第1号議案	第23期（令和元年度）営業報告について	…1～4
第2号議案	第23期（令和元年度）決算報告について	…5～11
第3号議案	第24期（令和2年度）事業計画（案）について	…12～15
第4号議案	取締役任期満了による取締役選任について	…16

第1号議案

## 第 23 期

## 営 業 報 告 書

自：平成31年4月 1日  
至：令和 2 年3月31日

小倉国際流通センター株式会社

## 1 営業報告

### (1) 営業概況

平成12年9月1日に営業を開始し、20年目を迎えた今期、453万円の純利益（税引前で704万円）を計上した。内 建物及び設備の老朽化に伴う修理費用の増加を見込み、年間360万円の修繕引当金を計上し、27年度からの5年間にて累計1,460万円の修繕引当金の残高となった。又 大規模改修工事の増額により設備劣化に対する改修工事として、電気設備の4基全ての変圧器及びコンデンサーを交換し587万円（内、修繕引当金取崩 340万円）やエレベーターメインロープ 140万円の交換を予定通り実施した。

### (2) 営業方針

「収益向上の事業運営と今後の経営方針の確立」

### (3) 主要な事業概要

不動産の賃貸業

北九州港における物流機能の整備についての調査及び研究に関する業務

北九州港への航路誘致、集荷のための情報収集、調査及び研究に関する業務

前各号に付帯または関連する一切の業務

## 2 令和元年度経営課題の総括

### (1) 確実な設備点検による修理費の軽減と今後の課題

今期は風水害による建物の損傷はなかったが、大型重量シャッター（高さ3.200m・幅10.000m）や垂直搬送機のトラブルも依然続いており対応に苦慮している。一方前期12月に、「北九州市次世代エネルギー設備導入促進事業における補助金制度」を活用して倉庫（水銀灯）・事務所（蛍光灯）等510台の照明をLED器具に交換したが、LED照明削減率（66.1%）全社削減率（44.6%）となり、電気料金は年間約165万円の費用減となった。

今後も、中長期的な倉庫内機械設備の改修計画を進めていく。

### (2) 稼働率向上に向けた倉庫利用者への協力要請

引き続き顧客へ尽力をお願いした。

### 3 総務の概況

#### (1) 総会及び取締役会開催

平成31年4月26日

第74回取締役会

- 第22期決算書類案の承認

令和元年5月24日

第75回取締役会

- 第22回株主総会 決算書類の承認
- 総会付議議案の決定

令和元年6月26日

第22回定時株主総会

- 第22期決算報告及び損失処理案承認の件
- 取締役辞任による取締役選任の件

令和元年6月26日

第76回取締役会

- 今後の課題と取組について

#### (2) 登記に関する事項

令和元年6月22日

役員に関する事項

( 取締役辞任に伴う就退任 )

取締役	東田重樹	新任
取締役	片山久夫	退任



#### 4 会社の概況

##### (1) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 10,000株
- ② 発行済株式総数 9,300株
- ③ 当期末株主総数 11名
- ④ 株主の状況

株 主 名	持 株 数 (株)	持株比率 (%)
株式会社上組	1,600	17.20
山九株式会社	1,600	17.20
鶴丸海運株式会社	1,600	17.20
日本通運株式会社	1,600	17.20
山田港運倉庫株式会社	1,600	17.20
日鉄物流八幡株式会社	400	4.30
北九州市	400	4.30
株式会社三菱 UFJ 銀行	400	4.30
株式会社福岡銀行	30	0.33
株式会社みずほ銀行	30	0.33
株式会社西日本シティ銀行	40	0.44
合 計	9,300	100.00

##### (2) 従業員の状況

	従業員数	備 考
男 子	1名	但し、業務委託先職員
女 子	0名	
合 計	1名	

(3) 企業結合の状況…特に該当なし

(4) 長期借入金の返済状況と借入残高…なし

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

決 算 報 告 書

第 23 期

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

小倉国際流通センター株式会社

北九州市小倉北区西港町109番地2

# 貸借対照表

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 89,674,370】	【流動負債】	【 6,446,986】
現金預金	75,383,800	未払金	1,367,286
売掛金	14,290,570	未払法人税等	1,932,000
【固定資産】	【 434,337,985】	未払消費税等	3,147,700
[有形固定資産]	[ 433,889,648]	【固定負債】	【 14,600,000】
建物	997,372,574	修繕引当金	14,600,000
建物附属設備	121,130,000		
構築物	35,782,000	負債合計	21,046,986
機械装置	70,454,000	純資産の部	
工具器具備品	354,000	【株主資本】	【 502,965,369】
減価償却累計額	△791,202,926	[資本金]	[ 465,000,000]
[無形固定資産]	[ 145,070]	[利益剰余金]	[ 37,965,369]
電話加入権	145,070	(その他利益剰余金)	( 37,965,369)
[投資その他の資産]	[ 303,267]	繰越利益剰余金	37,965,369
長期前払費用	303,267	純資産合計	502,965,369
資産合計	524,012,355	負債・純資産合計	524,012,355

# 損 益 計 算 書

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	77,948,592	77,948,592
売 上 総 利 益		77,948,592
【販売費及び一般管理費】		74,305,119
営 業 利 益		3,643,473
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	458	
雑 収 入	234	692
経 常 利 益		3,644,165
【特 別 利 益】		
修繕引当金戻入益	3,400,000	3,400,000
税引前当期純利益		7,044,165
法人税、住民税及び事業税		2,518,968
当 期 純 利 益		4,525,197

## 販売費及び一般管理費

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
旅 費 交 通 費	24,717	
通 信 費	115,234	
租 税 公 課	8,168,700	
消 耗 品 費	20,982	
事 務 用 品 費	12,894	
修 繕 費	11,186,398	
保 險 料	200,133	
支 払 手 数 料	35,700	
減 価 償 却 費	32,478,941	
外 注 労 務 費	3,000,000	
水 道 費	120,364	
電 力 費	3,745,924	
地 代 家 賃	10,172,500	
修繕引当金繰入	3,600,000	
雑 費	1,422,632	74,305,119
合 計		74,305,119

# 株主資本等変動計算書

自 平成 31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月 31日

(単位：円)

	株主資本										純資産合計
	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	利益剰余金 合計	純資産合計	
	資本金	資本剰余金 その他の資本 剰余金		資本剰余金 合計	利益準備金	利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金 合計			任意積立金	繰越利益剰余金				
当期末残高	465,000,000					33,440,172	33,440,172		498,440,172		498,440,172
当期末変動額											
当期純利益						4,525,197	4,525,197		4,525,197		4,525,197
当期変動額合計	0					4,525,197	4,525,197		4,525,197		4,525,197
当期末残高	465,000,000					37,965,369	37,965,369		502,965,369		502,965,369

# 個 別 注 記 表

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物は定額法、その他は定率法を採用しております。

無形固定資産・・・定額法を採用しております。

### 2. 重要な引当金の計上基準

倉庫内物流関連機械装置修理に要する修繕費用の支出に備えるため、その発生見込額のうち当会計年度に負担すべき金額を計上しております。

### 3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

## 株主資本等変動計算書に関する注記

### 1. 当期末における発行済株式数

普通株式・・・9,300株

## 監査報告書

私は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第23期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告、損失処理に関する議案及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であると認めます。

令和 2年4月24日

小倉国際流通センター株式会社

監査役 榊原祥浩 



## 第24期 事業計画

自：令和 2年4月 1日

至：令和 3年3月31日

小倉国際流通センター株式会社

# 1 令和2年度の財務及び施設運営方針

## (1) 財務上の取り組み

令和元年度における純利益は453万円を計上することができ、今年度への繰越利益剰余金は3,797万円となっている。

令和2年度においては、資金的余力を活かし老朽化した倉庫設備の改修に重点を置き、主に垂直搬送機3基の更新を図っていく。

又過去実績対比にて全設備510灯のLED照明化により年換算198、万円のコストが削減され効果の継続とコスト管理を図る。

## (2) 施設管理・運営上の取り組み

ア 完成から21年が経過し、施設の老朽化や設備の故障が増加する傾向にある。特に基幹設備である電気設備においては、前年度に変圧器及び高圧コンデンサー取替工事が終えた。2年度は、予算総額約2,841万円の垂直搬送機3基の全面改修工事を予定する。

### (主要設備・施設)

・エレベーター(構内リフト昇降)	1基
・垂直搬送機(入出庫製品の横移動と昇降)	3基
・ドックレベラー(エプロン上下調整)	7基
・倉庫エプロン重量シャッター(3.2m×10m)	11枚
・倉庫内重量シャッター	6枚

イ 稼働率100%を維持していくため、引き続き顧客の尽力をお願いしていく。

(単位：円)

科 目	令和元年度 実 績	令和2年度 計 画	増 減
[売上高]	77,948,592	77,948,556	△36
[販売費及び一般管理費]	74,305,119	70,705,734	△3,599,385
営業利益	3,643,473	7,242,822	3,599,349
[営業外収益]	692	500	△192
受取利息	458	500	42
雑収入	234	0	△234
経常利益	3,644,165	7,243,322	3,599,157
[特別利益]	3,400,000	3,600,000	200,000
修繕引当金戻入金	3,400,000	3,600,000	200,000
[特別損失]	0	1,662,721	1,662,721
固定資産除却損	0	1,662,721	1,662,721
[税引前当期純利益]	7,044,165	9,180,721	2,136,436
[法人税等]	2,518,968	3,282,950	763,982
当期純利益	4,525,197	5,897,651	1,372,454
繰越利益剰余金	37,965,369	43,863,020	5,897,651

## 令和2年度予定一般管理費

(単位：円)

科 目	令和元年度 実 績	令和2年度 計 画	増 減
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	24,717	25,000	283
接待交際費	0	50,000	50,000
通信費	115,234	120,000	4,766
租税公課	8,168,700	8,168,700	0
消耗品費	20,982	30,000	9,018
事務用品費	12,894	12,000	△894
賃借料	0	0	0
修繕費	11,186,398	5,514,000	△5,672,398
保険料	200,133	200,133	0
支払手数料	35,700	36,000	300
減価償却費	32,478,941	34,187,401	1,708,460
外注労務費	3,000,000	3,300,000	300,000
水道費	120,364	121,000	636
電力費	3,745,924	3,746,000	76
地代家賃	10,172,500	10,172,500	0
修繕引当金繰入	3,600,000	3,600,000	0
雑費	1,422,632	1,423,000	368
計	74,305,119	70,705,734	△3,599,385

## 第4号議案

### 取締役任期満了による取締役選任について

取締役任期満了による取締役 徳光昌己、鶴丸俊輔、京極明博、山田康一朗

黒沢 崇、東田重樹は、本総会終結の時をもって辞任致しますので、新たに取締役、6名を選出する。

なお、取締役候補は下記のとおりである。

役 職	氏 名	現在の主たる職業	所有する株式の数	当社との利害関係
取締役（重任）	徳光 昌己	山九株式会社 北九州支店 支店長	0	なし
取締役（〃）	鶴丸 俊輔	鶴丸海運株式会社 代表取締役社長	0	なし
取締役（〃）	山田康一朗	山田港運倉庫株式会社 代表取締役社長	0	なし
取締役（新任）	深江 昭一	株式会社 上組 八幡支店 支店長	0	なし
取締役（重任）	黒沢 崇	日本通運 株式会社 ひびき海運支店 支店長	0	なし
取締役（〃）	東田 重樹	北九州市港湾空港局 港営部長	0	なし